

# 20 地方自治体

京都府政策企画部調査統計課主事

林 栄一

## 「数字の海」を泳ぐ



### ■ 仕事の内容

### 最強の協力者であり、最大の利用者

それは、地方公共団体です。統計調査は、調査業務の大部分が都道府県の統計課職員と調査員によって支えられています。国勢調査など大規模な調査では市区町村職員もその一員です。正確性や個人情報の保護などのため、総務省統計局などが詳細に定めた調査規程があります。この調査規程などにに基づき、大変な調査業務を全都道府県が実行することで、世界トップクラスの正確な統計が作られ、統計局などによって世に送り出されます。

こうして作られた統計は、地域を知るための重要な資料でもあります。京都府をはじめ、地方公共団体では統計を政策立案や政策目標、政策評価などに活用しています。つまり、総務省統計局と地方公共団体とは統計行政において相互協力関係にあります。

そして、現在の私の仕事は広大な「数字の海」、統計から政策に必要な数字を探すことです。もちろん、探すだけでなく視覚的にわかりやすく表現し、要因分析も行っています。

### ■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

### 総務省というより統計局志望でした。

総務省統計局以外にも、統計は全府省で作成されています。特に内閣府が発表する国内総生産は注目度が高く、必ずと言っていいほどニュースになります。そんな中、あえて総務省を選んだ理由は、統計局で統計専門の公務員として働きたいと思ったからです。

実際に総務省で働きはじめてみると、実に多様な人材が集まっており、それぞれが調和し、仕事をしていると感じています。また、全く異なる行政分野の仕事をする人、特定の行政分野の道を歩んできた人など、このような多様な人の存在は、自分のライフコースを考える上でもとても参考になります。このような中で仕事ができ、総務省を選んで正解だったと私は思っています。

皆さんが総務省を志望する理由は、それぞれ違うと思います。ただ、幅広い行政分野と専門性をもつ総務省であればそれに応えてくれる、そんな組織であると思います。

将来、皆さんと総務省で会えることを、楽しみにしています。

### ■ PRIVATE TIME

一眼レフを片手に京都の史跡・名所を巡っています。同じ寺院でも訪れる季節によって表情が変わり、変化の様子を見ることも楽しみの一つです。一方、スキューバダイビングも趣味の一つで、一年間を通じて潜っています。きれいな海や魚を見ていると疲れも吹き飛び、とてもリフレッシュできます。



### ■ PROFILE

Eiichi Hayashi

平成22年4月	総務省採用
	統計局統計調査部消費統計課 審査発表係
平成25年4月	現職

### とある 一週間

#### ■ MONDAY

府内経済に係る情報交換会の資料セットをする。

#### ■ TUESDAY

月次の経済統計を説明するために幹部の予定確認をする。

#### ■ WEDNESDAY

午前には配布資料の最終確認、午後は情報交換会を開催する。

#### ■ THURSDAY

情報交換会の議事概要を作成し、上司などに確認を取る。

#### ■ FRIDAY

経済統計の動向と情報交換会の要旨を幹部に報告する。

地方自治体

関係機関

海外

留学